2023 年 7 月 21 日

各　位

H.U.グループホールディングス株式会社

「第 48 回井上春成賞」受賞について

当社の連結子会社である富士レビオ・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：石川　剛生、本社：東京都港区）傘下の富士レビオ株式会社（代表取締役社長：藤田　健、本社：東京都港区、以下「富士レビオ」）は、このたび、北海道大学大学院医学研究院内科系部門　豊嶋崇徳教授とともに、「新型コロナウイルス抗原定量試薬による唾液検査の開発と空港検疫への応用」において第 48 回井上春成賞を受賞しましたので、お知らせします。同賞の贈呈式は 7 月 20 日に一般社団法人日本工業倶楽部にて行われました。

「井上春成賞」は、大学や研究機関等の独創的な研究成果をもとにして企業が開発、実用化した技術のうち、日本の科学技術の進展や経済の発展に寄与し、福祉の向上に貢献した優れた技術について、研究者および企業に対して贈られる賞です。

新型コロナウイルス感染症の検査は、2020 年の流行開始当時、鼻咽頭ぬぐい液を検体に用いた PCR 検査法が主に使用されており、検体採取時においては痛みや検査者の感染の危険、また検査作業においては操作の煩雑性や結果判定までに時間を要することなど数多くの課題がありました。富士レビオは北海道大学とともに、採取が容易で被検者の痛みや検査者の感染リスクの少ない唾液を検体とし、既存の全自動測定機器による化学発光酵素免疫測定法を用いることによる迅速かつ高感度で高い信頼性を有する大量処理可能な抗原定量検査法を極めて短期間で実用化しました。これにより、空港検疫などでのマス・スクリーニングの効率化を実現しただけでなく、一般の感染症対策の進展にも大きく貢献し、人々の安全で快適な暮らしや経済活動の維持にもつながりました。

当社グループは、今回確立した技術を他の感染症等の検査に応用し、早期診断技術のさらなる高度化や、今後も起こりうる感染症の流行抑制に貢献してまいります。さらに今後も、産学官連携による研究開発を加速させ、先端技術の実用化と社会実装に向けた活動に取り組んでいきます。

※詳細については、科学技術振興機構のホームページも参照ください。



受賞盾をもつ富士レビオ代表取締役社長　藤田健（前列左）と
北海道大学大学院医学研究院内科系部門　豊嶋崇徳教授（前列中央）

以上

【本件に関してのお問い合わせ先】

広報/サステナビリティ部 広報課　　TEL：03-6279-0884　e-mail：pr@hugp.com